

会報

かけはし

(題字 支部長 神山則幸)

令和 5 年 2 月 1 日

第 62 号

発行者
神山 則 幸

見つめよう、自分の健康を

副支部長 関口 憲二



この三年間
新型コロナウイルスの
蔓延で世の中
が激しく変化
しています。

と感じます。各家庭での会話不足、近所同志の挨拶や会話不足等ストレスだらけであるとも言われています。

先日県退職校長会の理事会の席上「体力・気力・知力」の必要性、特に新しい知力を生かして衰えがちな気力を充実させる事が大切であるとお話がありました。

外出する機会や横の繋がりが減

転んだ



秋晴れの日
課・散歩は快
いはずだった
踏み出した左
足は、液状化

の名残の窪みに落ちた。かばう右手は間に合わず、額が「がぎつ」と鳴った。この音、久しぶりだ。

り、とじこもり気味であるかと思
います。昔から言われる健康の
バロメーターの「快食・快眠・快
便」だけでも毎日確認し、自分自
身の体調に気付くべきだと考えま
す。毎日適度な運動で、食事をお
いしくいただき、短時間でも熟睡
でき、排尿排便がスムーズである
事も大切です。医療・食文化・健
康増進機器等は進化しております
が、自分流の健康法を工夫し、元
気な姿をつくる事が大切であると
思います。一日も早くコロナの感
染拡大が納まり、日常の楽しい生
活にもどり、マスクなしの会合、
会食、親睦を深める旅行等が復活
し、会員の皆様がより健康で元気
な姿となり、会の活動が進展しま
すよう、心より願っております。

藤・戸田班 山本 格

しかし、なんでこんな窪みで転
んだのだろうか。

店屋のガラスに写る自分の姿は、
『く』の字に曲がった腰で下を向い
て、足を引きずって歩いている。

これじゃ、つまずけば転ぶわけだ。
その上、この姿勢では膝に体重が
かかりすぎだ。膝が痛かったのは、

歳のせいではなかったのだ。

他の人たちの歩く姿も観察した。
驚いた。男女は違うのだ。男性は
背を丸めてトボトボ歩き、女性は
背筋をピンと伸ばして颯爽と歩く。
通勤時でも、踵が高い靴を履いた
女性をほとんど見ない。もともと
女性は姿勢が良いのか。

大学の地学実習では、崖の岩を
ハンマーでひっぱたく。男子の何
人かは高い所が苦手だが、女子は
全く平気。これも『姿勢』か？

歩く姿勢の改善をする。道路標
識に頭、尻、踵を付けて垂直に立
つ。そのままの姿勢で両手を大き
く振り、大腿で歩く。前のめりに
ならなければ膝への圧力は少ない。
駅の階段を、手すりをつかまなく
ても、速く昇り降りできる。

高い所の怖さは薄らいだかも知
れない。大工や高い所の職人に姿
勢が良い人をよく見る。他の職業
と比べられないけれど。

老人が庭や道で転んで寝込み、
亡くなられたと、よく聞きます。
我々には転ぶことは危険なのです。
外に出る時は必ず靴を履いて、
背を反らせて歩きましょう。それ
で、その危険は避けられます。
多少ですけれど。

会員短信

「つながりに感謝」

川口班 松原 誠

定年から六年になる。この間に社会の様子は大きく変わった。新型コロナウイルスの感染拡大により出歩く機会が減り、人が集まることもできない世の中になってしまった。先輩方や友人等と互いに連絡を取り合ってはいたが、最近やっとなの波の谷間で趣味のゴルフや数人での懇親会もできるようになり誘ってくださる人も増えてきた。改めて人とのつながりの大切さを実感し支えられていることに感謝している。今は肥満の鈍った身体を動かし減量に努めている。

学校は「ブラックな職場」?

蕨・戸田班 梶 賢治

ここ数年、教員採用試験の倍率が年々低下しています。今、学校はブラックな職場と言われ、そのことも一因ではないかと……。

現在、大学で教員を目指している学生を対象に、授業を担当して三年目になります。授業の中では、折に触れ、教師としてのやりがいや魅力などを学生に話をしていま

す。「教育は人を遣す仕事」等々。私にとって教え子は最大の財産。微力ながら、これからも教育のすばらしさを学生に伝え続けていきたいと思っています。

出会いは学び、喜び

草加班 鈴木 有津子

「子どもは園で遊んでいるだけなのか？」答えは「ノー」です。子どもは遊びの中で学んでいるのです。校長として『幼保小中を一貫した教育』を推進し、退職後もそれに関わる仕事をする中で、私が学んだ答えです。それを具体的理論的に学ばせてくれたのが、一緒に仕事をする元保育園長の方々です。子どもを見る視点や育てるための支援等々、新しい学びでした。いくつになっても学ぶことは喜びであり、そんな『先生方』との出会いは私の大きな宝物です。

枯木発栄を

川口班 谷口 正夫

退職し、六年が過ぎようとしているが教員を目指す大学生の指導支援にあたり、変わらず教育界で御世話になっている。しかし、ゆとりを持てた事からかテレビ番組に目を向けるようになった。事件があると専門家が出演することが

ある。時として他愛の無いと感じていたことに専念されている方が居り、感動を覚えると共に羨ましささえ感じる。我が身の浅学菲才に非認知能力という語が頭をよぎる。自粛のコロナ禍を活かし精選と一意専心ができればと思う。

アナログを見直す

朝霞班 新井 正昭

送迎バスに取り残され、熱中症で園児が亡くなるという悲惨な事故が発生した。降車時に後席から前席までを歩きながら一通り確認すれば決して起こらない事故である。

便利さを重視し、効率のために利用するAI機器があっても、使い道を誤ると取り返しのがつかないことに繋がってしまう。恐ろしいのは「慣れ」と「思い込み」だ。ここで一昔前に戻り、アナログ的な行動を再度見直してみてもどうだろうか。

最近の関心事

草加班 峰崎 隆司

退職後の四年間、市の教員指導員として学校訪問を行い、各学校の学力向上などを支援した。どの学校の教職員も児童生徒のために時間を惜しまず、意欲的に取り組

教職員の働き方改革推進

朝霞市教育委員会教育長

二見 隆久



現在、学校教育は歴史的転換点を迎えている。

これまでの日本型学校教育の良さを継承しつつも、急激に変化する社会を生き抜く子供たちを育てていくためには、学校教育を支える教師自身の変革と資質向上が求められている。しかし今、世間では教師の仕事がブラック企業並みに過酷であるという風潮が流れて、教職を志す若者が激減し、慢性的な教員不足に陥っている。このままでは学校教育そのものが持続不可能な状況になりかねない。今こそ働き方改革を推進し、教師がやりがいを持って教職の素晴らしさを実感できるように変革していかなければならない。

朝霞市教育委員会としても、人的配置や業務削減に向けた様々な取組を実施してきた。その結果、数年前に比べれば教職員の時間外勤務時間の平均は減少し、全体的には働き方改革が進んだように思われる。しかしながら教職員間での差が激しく、時間外勤務が

む姿に頼もしく思った。

その一方で、学校の働き方改革が大きな課題であり、長時間勤務の是正や勤務時間に関する意識改革など、これまでのような働き方は見直されなければならない。

教育の質の向上と働き方改革、どうしたら上手く両立できるのか、最近の一番の関心事である。

まだまだ感謝の人生

川口班 大山 孝一

令和二年三月に退職し、再任用三年目になります。現在は川口市立青木中学校でお世話になっています。すてきな家族と最高の仲間に出会えて、とても充実した毎日を過ごしています。そんな中、最近感じることは、屈伸をすると膝が痛く、四階まで一気に階段を上るのがきつく、体力が落ちたということ。それでもまだ、先が長い人生。これからも多くの人との出会いに感謝し、たくさんのかを学び、自分を成長させていきたいと思っています。

これからもう少し

朝霞班 矢田 敦子

文科省発表「令和三年度不登校数が二十四万人を超え過去最多」は、朝霞市子ども相談室の教育相

談員として勤しんできた私にとつて驚きの数字であった。

子供を取り巻く課題は複雑化して、学校教育相談だけでは太刀打ちできない。退職後一念発起し、福祉と心理の勉強を始めた。悪戦苦闘したが、社会福祉士と公認心理師の資格を取得した。これからは健康に留意しつつ学び続け、学びを生かし、もう少しだけ、子供の自己実現の手助けをしていきたい。

「一生勉強」

川口班 小堀 壮一

新型コロナウイルスの渦中で始まった初任者指導の仕事も早や三年目。初任者は、日々の授業でギガ端末と教育アプリを活用し、指導効果を挙げています。「後生畏るべし」様々な分野でDX推進を急ぐ令和の日本。デジタルデバイド（情報格差）を最小化すべく、公教育の使命はますます重要です。

私はと言えば、最近、SIMフリーのスマートフォンをネットで購入し、悪戦苦闘し、設定しました。自分でやると楽しい。できると嬉しい。何事も一生勉強です。

内装リフォームに挑戦

蕨・戸田班 齊藤 薫

築三十四年の我が家の屋根瓦と

外壁の修繕・塗装を依頼し、新築のようになったが次第に、玄関やLDK・トイレの天井や床、壁等内装の古さが気になってきた。そこで一念発起し自分で張り替えに挑戦した。張り替えといっても、今ある上に専用クロスを貼っていくだけなのだが、肩や首筋を痛めつつ、脚立を踏み外さぬよう悪戦苦闘の末、新築時の白さを取り戻した。所詮アマチュア仕様だが、その出来栄えに満足している。次は庭に人工芝でも張ろうか思案中である。

延長戦三年目

川口班 山名 勝敏

今年の世相を表す漢字「戦」が発表された。この時、本校では六年生が学級閉鎖となり子供達はコロナとの戦いを続けている。コロナ禍三年目の教育活動でわかったこと、タブレットをいじっている児童の顔は生き生きとしている。コロナ前の運動会が一番良い運動会でなく、工夫した運動会こそ一番良い運動会である。管理職の働き方改革ベストワンは、オンライン会議である。残念なことは、子供達の顔が脳裏に焼き付かないこと。もう少しだけ頑張ります。

月80時間を超える教職員も一定数いて、恒常的に深夜まで学校で勤務をしている状況である。

そこで教育委員会として、11月から市内全校の施錠時間を午後8時とし、それ以降の勤務を原則として認めないという取組を実施した。その結果、11月の集計結果では、ほぼ全ての学校が90%以上の割合で8時施錠退勤を実現し、教職員の時間外勤務も大きく削減することができた。

ただし、8時施錠退勤は目的ではなく、きつかけづくりにすぎないと考えている。これまで子供のためにという大義名分のもと、足し算ばかりしてきた学校は、スクラップが苦手である。勤務終了時間を設定することで、個々の教員が自己の働き方や仕事の優先順位を変えること、学校全体では特定の教員に偏りがちな業務の削減や分担の見直しをすることなどで結果として働き方改革につなげるこれが真のねらいである。

教職員の働き方改革が叫ばれて久しいが、なかなか正解や解決策が出るものでもなく、いまだ道半ばという状況が続いている。今後教材のデータベース化やICT機器の活用、さらなる人員の配置などの施策により、教職員の負担軽減に一層取り組んでいく。

支部だより

対面の教育推進協議会

盛会裡に終わる

令和四年度現職・退職校長北足立南部支部教育推進協議会は十一月十七日(木)



川口市立並木公民館に於いて、現職小・中学校長三十六名、退職校長四十一名、来賓三名の参加を得て開催された。

開会に当たり、川口市教育委員会教育長井上清之様から、川口市立高等学校の紹介と本教育推進協議会に対し、励ましの言葉と期待を寄せているとのご挨拶を頂いた。また、南



部教育事務所長島宗央様から本年度の県教育局の方針や現下の教育情勢とその対策等にも触れた御講話と挨拶を

頂いた。

推進協議会は、

現職校長会を代表して蕨市立東小学校菅原義裕校長、志木市立宗岡第二中学校中平仁校長、退職校長会代表草加班寺島高志校長より、現下の教育の諸課題について、実践に基づく貴重な発表があり、その後、県退職校長会幹事野本キミ子様から丁寧な指導講評を頂いた。



本年度は、コロナ感染症のため協議会終了後の恒例の懇親会は行われず、現職校長と退職校長の会食を通しての親睦を深める場を設けられなかったのは心残りであった。

なお、発表内容は「埼玉県退職校長会会報百七十七号」に掲載される。是非、ご一読下されたい。

(和田悦男)

十二月二十日現在会員ご逝去の連絡はない。御同慶の至りである。

班だより

◆朝霞班

本年度は、新入会員四名を迎え、会員百十一名でスタートした。

会員の親睦と連絡を図ることを目的に、事業を企画している。

◎定期総会

五月七日、朝霞市産業文化センターで三年ぶりに定期総会を開催した。親睦会は断念したため、出席者の自己紹介の時間を設定した。お一人ずつ、内容の濃い話をいただき、対面することの良さを実感した。



◎健康ハイキング

小春日和の十一月十六日、都立文化財庭園の「六義園」と「とげぬき地蔵尊」のある巣鴨地藏通りを散策した。昼には、おいしい蕎麦を食べながら近況を報告し合った。



◎会報発行

会員が自由に寄稿できる文集として、班四市の頭文字を組み合わせた『SWAN』第十八号を十一

月に刊行した。総会への出欠通知の返信欄に記載をいただいた会員の近況を初めて掲載した。なかなかお会いできない方々の様子を知らることで本会目的の一助となった。

◎その他

【BBQを楽しむ会】

十月七日、民間施設の会場で実施。あいにくの天候、少ない人数だったが、暖かな一時を過ごした。

【新年親睦懇親会】

コロナの終息、新年が良い年でありますようになどの願いを込めて、令和五年一月二十七日に予定している。

(柿崎 勲)

あとがき

北足立南部支部会報「かけはし」第六十二号に、ご多用の中、玉稿を賜りました各位に衷心から御礼申し上げます。

県退職校長会のホームページに「作品展のサイト」が開設されました。早速、北足立南部支部(朝霞班)からご応募いただき、工芸部門で素晴らしい作品が写真で紹介されています。

写真、絵画、書・篆刻・彫刻の部門にも、班のHP担当の方をとおして、どうぞ積極的なご応募をお願いいたします。(羽富正晃)